

健康いわて21プランの目標項目一覧(平成25年度)

◆ ○囲み数字は、平成○年を表す。〔(例) ㉑は平成19年〕
 ◆ () の数値は全国値を表す。

領域	No.	目標項目 (★印:代表目標項目)	区分	基準値	中間値	実績値 (直近)	目標値 (H24)	目標値(案) (H25)	目標値 設定の考え方
1 全体目標	1	1-1-1 健康で自立できる期間の割合の増加	男性	㉑ 92.1%	㉒ 91.4%	㉓ 90.9%	94.0%以上	94.0%以上	(3)-ア③ 基準値から4%増加
			女性	㉑ 87.2%	㉒ 86.1%	㉓ 84.7%	91.0%以上	91.0%以上	
	2	★ 1-1-2 主観的な健康指標「自分は健康であると思う人」の割合の増加		㉒ 76.3%	—	㉓ 71.3%	90.0%以上	90.0%以上	(3)-ア③ (他県の例を参考に2割増)
3	★ 1-1-3 早世に関する指標「65歳未満で死亡する人の割合」の減少	男性	㉑ 25.4%	㉒ 21.1%	㉓ 18.3%	18.0%以下	18.0%以下	(3)-ア③ (H8~10年の年齢階級別総死亡率の平均値を求め、平成22年もこの値が変わらないものと仮定して、平成22年の人口推計から年齢階級毎の死亡数を求め全死亡数に対する64歳以下の割合を計算)	
		女性	㉑ 13.7%	㉒ 11.1%	㉓ 9.1%	9.0%以下	9.0%以下		
2 栄養領域	1	★ 2-1-1 成人の肥満者 (BMI ≥ 25.0) の割合の減少 (適正体重維持者の割合の増加)	20-60歳代男性	㉑ 34.4%	㉒ 32.2%	㉓ 32.3%	15.0%以下	15.0%以下	(2)-ア 国の目標値と同じ目標値を設定
			40-60歳代女性	㉑ 38.7%	㉒ 33.9%	㉓ 27.6%	20.0%以下	20.0%以下	
	2	★ 2-1-2 児童・生徒の肥満児 (村田式による標準体重の20%以上) の割合の減少 (適正体重維持者の割合の増加)	小学3年生	㉑ 10.6%	—	㉓ 11.4%	8.0%以下	8.0%以下	(3)-ア① 他の計画で目標値が設定 (県教育委員会設定「いわて希望創造プラン」)
			小学6年生	㉑ 14.9%	—	㉓ 17.9%	10.8%以下	10.8%以下	
			中学3年生	㉑ 12.1%	—	㉓ 9.7%	10.2%以下	10.2%以下	
			高校3年生	㉑ 15.9%	—	㉓ 13.0%	11.2%以下	11.2%以下	
	3	★ 2-1-3 20歳代女性のやせの者 (BMI < 18.5) の割合の減少 (適正体重維持者の割合の増加)		㉑ 12.1%	㉒ 8.3%	㉓ 19.0%	12.0%以下	12.0%以下	(2)-ウ 県基準値が国基準値を上回っており、県基準値以下として設定
	4	★ 2-1-4 20~40歳代の1日当たりの平均脂肪エネルギー比率の減少		㉑ 25.6%	㉒ 23.2%	㉓ 24.5%	25.0%以下	25.0%以下	(2)-ア 国の目標値と同じ目標値を設定
	5	2-1-5 成人の1日当たりの平均食塩摂取量の減少		㉑ 13.5g	㉒ 11.8g	㉓ 11.4g	10.0g未満	10.0g未満	(2)-ア 国の目標値と同じ目標値を設定
	6	★ 2-1-6 成人の1日当たりの野菜の平均摂取量の増加		㉑ 306.2g	㉒ 275.1g	㉓ 329.0g	350g以上	350g以上	(2)-ア 国の目標値と同じ目標値を設定
	7	2-1-7 カルシウムに富む食品 (牛乳・乳製品、豆類、緑黄色野菜) の成人1日あたりの平均摂取量の増加	牛乳・乳製品	㉑ 118.8g	㉒ 93.4g	㉓ 93.3g	130.0g以上	130.0g以上	(2)-ア 国の目標値と同じ目標値を設定
			豆類	㉑ 108.5g	㉒ 82.3g	㉓ 76.3g	110.0g以上	110.0g以上	※豆類は(2)-ウ 基準値が国目標値を上回っており、県基準値以上に設定
			緑黄色野菜	㉑ 92.5g	㉒ 89.0g	㉓ 96.8g	120.0g以上	120.0g以上	
	8	2-1-8 自分の適正体重を認識し、体重コントロールを実践する者の割合の増加		㉑ 40.2%	㉒ 44.1%	㉓ 45.5%	44.2%以上	44.2%以上	(3)-イ 基準値から10%改善した値を設定
	9	★ 2-1-9 朝食の欠食率の減少	20歳代男性	㉑ 45.5%	—	㉓ 53.5%	41.0%以下	41.0%以下	(3)-イ 基準値から10%改善した値を設定
			30歳代男性	㉑ 35.4%	—	㉓ 50.6%	32.0%以下	32.0%以下	
			中学1年生	㉑ 6.8%	—	㉓ 4.4%	6.0%以下	6.0%以下	
			中学3年生	㉑ 8.7%	—	㉓ 6.9%	8.0%以下	8.0%以下	
			高校3年生	㉑ 15.8%	—	㉓ 13.3%	14.0%以下	14.0%以下	
	10	2-1-10 量、質ともにきちんとした食事をする者の割合の増加「1日最低1食、きちんとした食事を、家族2人以上で、楽しく30分以上かけてとる者の割合の増加」		㉑ 57.8%	㉒ 55.7%	㉓ 57.4%	70.0%以上	70.0%以上	(2)-ア 国の目標値と同じ目標値を設定
11	2-1-11 外食や食品を購入する時に栄養成分表示を参考にする者の割合の増加		㉑ 27.8%	㉒ 26.3%	㉓ 29.6%	30.6%以上	30.6%以上	(3)-イ 基準値から10%改善した値を設定	
12	2-1-12 自分の適正体重を維持することができる食事を理解している者の割合の増加	成人男性	(㉑)65.6%	—	—	80.0%以上	80.0%以上	(2)-エ 県基準値に国基準値をおいており、国の目標値と同じ目標値を設定	
		成人女性	(㉑)73.0%	—	—	80.0%以上	80.0%以上		
13	2-1-13 自分の食生活に問題があると思う者のうち、改善意欲のある者の割合の増加		㉑ 34.4%	㉒ 34.3%	㉓ 35.4%	37.8%以上	37.8%以上	(3)-イ 基準値から10%改善した値を設定	
14	★ 2-1-14 メタボリックシンドローム (内臓脂肪症候群) を認知している県民の割合の増加		㉑ 41.5%	—	㉓ 57.0%	80.0%以上	80.0%以上	(2)-ア 国の目標値と同じ目標値を設定	
15	2-2-1 食生活改善推進員団体連絡協議会の会員数の増加		㉑8,903人	㉒8,220人	㉓7,421人	10,000人	10,000人	(3)-ア① 他の計画で目標値が設定	
16	2-2-2 栄養・食生活 (特に適量) に関する健康教育を実施している市町村の増加		㉑ 79.6%	㉒ 98.3%	㉓ 100%	100%	100%	(1)-イ 理想的な状態を目指す目標	
17	2-2-3 外食料理栄養成分表示店の増加		㉑ 51店舗	㉒191店舗	㉓145店舗	201店舗以上	201店舗以上	(3)-イ 中間値から5%改善	
18	2-2-4 職域等における給食施設、レストラン、食品売場において、ヘルシーメニューの提供比率を上げ、その利用者の増加	20-59歳男性	(㉑)34.4%	(㉒)38.2%	—	(50.0%以上)	(50.0%以上)	(2)-エ 県基準値に国基準値をおいており、国の目標値と同じ目標値を設定	
		20-59歳女性	(㉑)43.0%	(㉒)44.8%	—	(50.0%以上)	(50.0%以上)		
19	2-2-5 地域、職域で、健康や栄養に関する学習の場を提供する機会を増やし、それに参加する者 (特に、若年層) の増加	成人男性	(㉑) 6.1%	(㉒) 7.4%	—	(10.0%以上)	(10.0%以上)	(2)-エ 県基準値に国基準値をおいており、国の目標値と同じ目標値を設定	
		成人女性	(㉑)14.7%	(㉒)15.3%	—	(30.0%以上)	(30.0%以上)		
20	2-2-6 地域、職域で、健康や栄養に関する学習や活動を進める自主グループの増加	成人男性	(㉑) 2.4%	(㉒) 3.5%	—	(5.0%以上)	(5.0%以上)	(2)-エ 県基準値に国基準値をおいており、国の目標値と同じ目標値を設定	
		成人女性	(㉑) 7.8%	(㉒) 7.4%	—	(15.0%以上)	(15.0%以上)		

領域	No.	目標項目 (★印:代表目標項目)	区分	基準値	中間値	実績値 (直近)	目標値 (H24)	目標値(案) (H25)	目標値設定の考え方
3 身体活動領域	1	3-1-1 健康な生活を続けるために運動することを心がけている人の割合の増加		⑪ 28.0%	⑫ 26.8%	⑬ 32.0%	50.0%以上	50.0%以上	(2)-イ 国基準値(52.7%)並を設定(国目標値63%)
	2	★ 3-1-2 県民の一日の平均歩数の増加	男性	⑪7,632歩	⑫6,618歩	⑬7,145歩	8,632歩	8,632歩	(2)-イ① 国の目標値と同程度の増減率で設定 1,000歩増
			女性	⑪7,245歩	⑫6,037歩	⑬6,428歩	8,245歩	8,245歩	
	3	★ 3-1-3 運動習慣者の割合の増加	男性	⑪ 32.4%	⑫ 26.3%	⑬ 31.6%	40.0%以上	40.0%以上	(2)-イ① 国の目標値と同程度の増減率で設定(国基準値:男28.6%、女24.6%)
			女性	⑪ 32.2%	⑫ 19.0%	⑬ 32.2%	40.0%以上	40.0%以上	
	4	★ 3-1-4 成人の肥満者(BMI≥25.0)の割合の減少(適正体重維持者の割合の増加)【再掲】	20-60歳代男性	⑪ 34.4%	⑫ 32.2%	⑬ 32.3%	15.0%以下	15.0%以下	(2)-ア 国の目標値と同じ目標値を設定
			40-60歳代女性	⑪ 38.7%	⑫ 33.9%	⑬ 27.6%	20.0%以下	20.0%以下	
	5	★ 3-1-5 メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)を認知している県民の割合の増加【再掲】		⑬ 41.5%	—	⑭ 57.0%	80.0%以上	80.0%以上	(2)-ア 国の目標値と同じ目標値を設定
	6	3-1-6 外出について積極的な態度をもつ者の増加	60歳以上男性	(⑪)59.8%	(51.8%)	—	70.0%以上	70.0%以上	(2)-エ 県基準値に国基準値をおり、国の目標値と同じ目標値を設定
			60歳以上女性	(⑪)59.4%	(51.4%)	—	70.0%以上	70.0%以上	
			80歳以上全体	(⑪)46.3%	(38.7%)	—	56.0%以上	56.0%以上	
	7	3-1-7 何等かの地域活動を実施している者の割合増加	(60歳以上)男性	(⑪)48.3%	(66.0%)	—	58.0%以上	58.0%以上	(2)-エ 県基準値に国基準値をおり、国の目標値と同じ目標値を設定
			(60歳以上)女性	(⑪)39.7%	(61.0%)	—	50.0%以上	50.0%以上	
8	★ 3-1-8 高齢者の日常生活における歩数の増加	男性	⑪5,122歩	⑫4,376歩	⑬4,813歩	6,422歩	6,422歩	(2)-イ① 国の目標値と同程度の増減率で設定 1,000歩増(国基準値:男5436歩、女4604歩)	
		女性	⑪3,692歩	⑫4,043歩	⑬4,500歩	4,992歩	4,992歩		
9	★ 3-1-9 児童・生徒の肥満児(村田式による標準体重の20%以上)の割合の減少(適正体重維持者の割合の増加)【再掲】	小学3年生	⑬ 10.6%	—	⑭ 11.4%	8.0%以下	8.0%以下	(3)-ア① 他の計画で目標値が設定	
		小学6年生	⑬ 14.9%	—	⑭ 17.9%	10.8%以下	10.8%以下		
		中学3年生	⑬ 12.1%	—	⑭ 9.7%	10.2%以下	10.2%以下		
		高校3年生	⑬ 15.9%	—	⑭ 13.0%	11.2%以下	11.2%以下		
10	3-1-10 総合型地域スポーツクラブ加入者数の増加(人口1万人当たり)		⑩ 6.8人	⑪193.3人	⑫217.7人	50人	50人	(3)-ア① 他の計画で目標値が設定(教育振興基本計画(H22)現計画にはこの目標なし)	
11	3-2-1 健康運動指導士数の増加		⑩ 52人	⑪ 77人	⑫ 113人	58人	58人	(3)-ア① 他の計画で目標値が設定(県保健福祉計画H11~13までの達成目標)	
12	3-2-2 健康運動実践指導者の全市町村への配置		⑪ 44.0%	⑫ 77.6%	⑬ 91.2%	100%	100%	(1)-イ 理想的な状態を目指す目標	
13	3-2-3 健康づくりのための身体活動に関する健康教育を実施している市町村の増加		⑪ 72.9%	⑫ 92.9%	⑬ 100%	100%	100%	(1)-イ 理想的な状態を目指す目標	
4 喫煙領域	1	4-1-1 喫煙と健康に関する知識を持つ人の割合の増加		⑪ 83.8%	⑫ 91.0%	⑬ 90.7%	90%以上	90%以上	(1)-ア 知識習得に関する目標項目 90%以上
	2	★ 4-1-2 成人の喫煙率の減少	全体	⑪ 26.1%	⑫ 23.5%	⑬ 21.8%	20.0%未満	20.0%未満	(2)-ア 国の目標値と同じ目標値を設定
			男性	⑪ 51.6%	⑫ 43.9%	⑬ 38.8%	40.0%未満	40.0%未満	
			女性	⑪ 6.8%	⑫ 7.8%	⑬ 7.4%	6.0%未満	6.0%未満	
	3	★ 4-1-3 未成年者の喫煙率の減少		⑪ 11.7%	⑫ 10.5%	⑬ 1.6%	0.0%	0.0%	(1)-イ 理想的な状態を目指す目標
	4	★ 4-1-4 妊婦の喫煙率の減少		⑬ 5.7%	—	⑭ 5.1%	0.0%	0.0%	(1)-イ 理想的な状態を目指す目標
	5	4-1-5 この1年間で、たばこに関する健康教室や禁煙指導(保健所、保健センター、医療機関等の開催)に参加したことがある人の割合の増加		⑪ 3.1%	⑫ 3.0%	⑬ 3.5%	30.0%以上	30.0%以上	(3)-ア③ 喫煙率が4人に1人であることから、多めの3人に1人を目指して設定
	6	★ 4-2-1 公的施設及び企業・事業所における分煙化並びに学校施設における敷地内禁煙化の推進	県立施設の分煙化率	⑬ 100%	—	—	—	—	達成済
			市町村本庁舎の分煙化率	⑭ 57.1%	—	⑮ 67.6%	100%	100%	(1)-イ 理想的な状態を目指す目標
		企業・事業所の分煙化率	⑬ 43.4%	—	⑭ 63.0%	100%	100%		
		学校の敷地内禁煙化率	⑭ 79.6%	—	⑮ 85.2%	100%	100%		
7	★ 4-2-2 禁煙支援プログラムの普及(禁煙支援プログラムが提供されている市町村の割合の増加)		⑫ 32.8%	⑬ 57.1%	⑭ 51.4%	100%	100%	(2)-ア 国の目標値と同じ目標値を設定	
8	4-2-3 学校におけるたばこに関する保健指導の充実		⑬ 2.9%	⑭ 6.7%	⑮ 17.8%	7.1%以上	7.1%以上	(3)-イ 基準値から10%改善した値を設定	
9	★ 4-2-4 公共の場や職場での効果の高い受動喫煙防止対策についての知識の普及	男性	⑬ 71.6%	—	⑭ 75.8%	100%	100%	(1)-イ 理想的な状態を目指す目標	
		女性	⑬ 73.6%	—	⑭ 75.9%	100%	100%		

領域	No.	目標項目 (★印:代表目標項目)	区分	基準値	中間値	実績値 (直近)	目標値 (H24)	目標値(案) (H25)	目標値 設定の考え方
5 アルコール 領域	1	★ 5-1-1 多量に飲酒する人の割合の減少	男性	⑱ 4.6%	—	㉑ 5.8%	4.2%以下	4.2%以下	(3)-イ 基準値から10%改善した値を設定 (H22設定、代替指標)
			女性	⑱ 1.1%	—	㉑ 0.8%	1.0%以下	1.0%以下	
	2	5-1-2 アルコールの飲み過ぎによる健康への悪影響を知っている人の割合の増加		⑪ 83.2%	⑯ 89.8%	㉑ 90.1%	90.0%以上	90.0%以上	(1)-ア 知識習得に関する目標項目
	3	5-1-3 「節度ある適度な飲酒」とは、1日1合程度であるという知識の普及		㉑ 38.3%	—	—	40.2%以上	40.2%以上	(3)-イ 基準値から10%改善した値を設定 (H22設定、代替指標)
	4	★ 5-1-4 未成年者の飲酒率の減少		⑪ 23.3%	⑯ 17.5%	㉑ 4.8%	0.0%	0.0%	(2)-ア 国の目標値と同じ目標値を設定
	5	5-2-1 アルコールに関する健康教育を実施している市町村の割合の増加		⑰ 44.6%	—	㉒ 61.8%	100%	100%	(3)-イ 基準値から10%改善した値を設定 (H22設定、代替指標)
6	5-2-2 アルコールに関する普及啓発(イベント、講演会、健康教室、広報誌等)を実施している市町村の割合の増加		⑰ 33.9%	—	㉒ 94.1%	100%	100%	(3)-イ 基準値から10%改善(H22設定、代替指標)	
6 口腔保健 領域	1	★ 6-1-1 I 幼年期(1~4歳)・II 少年期(5~14歳)におけるむし歯を持たない者の割合の増加	1歳6か月児	⑩ 93.7%	⑯ 96.0%	㉓ 97.5%	97.6%以上	97.8%以上	(2)-イ② ※1
	★ 3歳児		⑩ 48.4%	⑯ 59.6%	㉓ 73.3%	71.7%以上	72.9%以上		
	12歳児		⑪ 26.4%	⑯ 45.7%	㉒ 54.5%	63.6%以上	65.7%以上		
	2	★ 6-1-2 12歳児における1人平均のむし歯の本数の減少		⑪ 2.98歯	⑯ 1.91歯	㉒ 1.27歯	1.2歯以下	1.1歯以下	(2)-イ② ※2
	3	6-1-3 I 幼年期における親に毎日仕上げ磨きを受ける者の割合の増加		⑪ 70.0%	⑯ 65.5%	㉑ 66.2%	90.0%以上	90.0%以上	(1)-ア 知識習得に関する目標項目 90%以上
	4	6-1-4 I 幼年期におけるフッ素塗布を受けたことがある者の割合の増加(3歳児)		⑤ 39.6%	—	㉑ 72.3%	50.0%以上	50.0%以上	(2)-ア 国の目標値と同じ目標値を設定
	5	6-1-5 I 幼年期・II 少年期におけるおやつとして甘いものとする回数が1日2回以下である者の割合の増加		⑪ 73.7%	⑯ 86.0%	㉑ 88.6%	90.0%以上	90.0%以上	(1)-ア 知識習得に関する目標項目 90%以上
	6	6-1-6 重度歯周病(CPI3以上)に罹っている者の割合の減少	15-24歳	⑪ 2.5%	⑯ 10.0%	—	2.0%以下	2.0%以下	(3)-ア③
	25-44歳		⑪ 29.6%	⑯ 23.0%	㉑ 23.5%	26.0%以下	26.0%以下		
	45-64歳		⑪ 38.4%	⑯ 50.3%	㉑ 51.1%	34.0%以下	34.0%以下		
	7	6-1-7 15歳以上における歯間清掃器具(フロス・歯間ブラシ)を使用する者の割合の増加		⑪ 26.0%	⑯ 13.0%	㉑ 17.6%	50.0%以上	50.0%以上	(2)-ア 国の目標値と同じ目標値を設定
	8	6-1-8 15歳以上における年1回定期健診を受けている者の割合の増加		⑪ 15.5%	⑯ 20.2%	㉑ 23.0%	30.0%以上	30.0%以上	(2)-ア 国の目標値と同じ目標値を設定
	9	★ 6-1-9 V 中年期(45~64歳)における24歯以上有する者の割合の増加		⑪ 42.0%	⑯ 42.2%	㉑ 56.9%	50.0%以上	50.0%以上	(2)-ア 国の目標値と同じ目標値を設定
10	★ 6-1-10 VI 高年期(65歳以上)における20歯以上有する者の割合の増加		⑪ 11.8%	⑯ 17.9%	㉑ 40.5%	20.0%以上	20.0%以上	(2)-ア 国の目標値と同じ目標値を設定	
11	6-1-11 VI 高年期(65歳以上)で何でも噛んで食べることができる者の割合の増加		⑱ 63.6%	—	㉑ 53.4%	70.0%以上	70.0%以上	(3)-イ 基準値から10%改善した値を設定	
12	★ 6-1-12 成人の喫煙率の減少【再掲】	全体	⑪ 26.1%	⑯ 23.5%	㉑ 21.8%	20.0%未満	20.0%未満	(2)-ア 国の目標値と同じ目標値を設定	
		男性	⑪ 51.6%	⑯ 43.9%	㉑ 38.8%	40.0%未満	40.0%未満		
		女性	⑪ 6.8%	⑯ 7.8%	㉑ 7.4%	6.0%未満	6.0%未満		
13	6-2-1 市町村における総合健康診査における歯周病検診の実施率の増加		⑩ 57.6%	⑮ 81.0%	㉑ 60.0%	100%	100%	(1)-イ 理想的な状態を目指す目標	

《算定方法》

※1 6-1-1 幼年期・少年期におけるむし歯を持たない者の割合の増加

むし歯有病者率の動向等から今後の減少率の鈍化を予想し、次の指数近似値を用いて設定。

$$3\text{歳児むし歯有病者率} = 66.553e^{-0.045x} = 27.06 \quad (\text{目標値} = 100 - 27.06 \doteq 72.9)$$

$$1.6\text{歳児むし歯有病者率} = 6.09e^{-0.072x} = 2.39 \quad (\text{目標値} = 100 - 2.39 \doteq 97.8)$$

$$12\text{歳児むし歯有病者率} = 77.328e^{-0.058x} = 34.33 \quad (\text{目標値} = 100 - 34.33 \doteq 65.67)$$

※2 6-1-2 12歳児における1人平均むし歯の本数の減少

1人平均むし歯の本数の動向等から今後の減少率の鈍化を予想し、次の指数近似値を用いて設定。

$$\text{平成25年度目標値} = 3.1776e^{-0.078x} = 1.07 \doteq 1.1$$

領域	No.	目標項目 (★印:代表目標項目)	区分	基準値	中間値	実績値 (直近)	目標値 (H24)	目標値(案) (H25)	目標値設定の考え方
7 が ん 領 域	1	7-1-1 がん予防12ヶ条の内容を知っている人の割合の増加		⑪ 30.6%	⑯ 33.7%	㉑ 34.4%	90.0%以上	90.0%以上	(1)-ア 知識習得に関する目標項目 90%以上
	2	★ 7-1-2 全がん死亡者数の減少 (人口10万対75歳未満年齢調整死亡率)	全体	⑰ 90.9	—	㉒ 88.4	81.8以下	81.8以下	(3)-ア① 他の計画で目標値が設定 (岩手県がん対策推進計画、H24:対基準年の10%以上減少、H29*対基準年の20%以上減少)
	男性		⑰ 121.1	—	㉒ 116.3	—	—		
	女性		⑰ 65.4	—	㉒ 64.4	—	—		
	3	7-1-3 胃がん死亡者数の減少 (人口10万対75歳未満年齢調整死亡率)	全体	⑰ 13.3	—	㉒ 12.6	—	—	目標値は設定せずに、その推移を確認
	男性		⑰ 20.3	—	㉒ 20.3				
	女性		⑰ 7.4	—	㉒ 5.9				
	4	7-1-4 子宮がん死亡者数の減少 (人口10万対75歳未満年齢調整死亡率)	女性	⑰ 4.0	—	㉒ 5.1	—	—	目標値は設定せずに、その推移を確認
	5	7-1-5 肺がん死亡者数の減少 (人口10万対75歳未満年齢調整死亡率)	全体	⑰ 13.9	—	㉒ 14.6	—	—	目標値は設定せずに、その推移を確認
	男性		⑰ 23.4	—	㉒ 23.0				
	女性		⑰ 5.8	—	㉒ 7.2				
	6	7-1-6 乳がん死亡者数の減少 (人口10万対75歳未満年齢調整死亡率)	女性	⑰ 9.9	—	㉒ 12.0	—	—	目標値は設定せずに、その推移を確認
	7	7-1-7 大腸がん死亡者数の減少 (人口10万対75歳未満年齢調整死亡率)	全体	⑰ 12.8	—	㉒ 9.9	—	—	目標値は設定せずに、その推移を確認
	男性		⑰ 17.4	—	㉒ 14.3				
	女性		⑰ 8.7	—	㉒ 6.0				
	8	★ 7-1-8 胃がん検診受診率の増加	40歳以上	⑯ 31.5%	—	㉒ 36.1%	50.0%以上	50.0%以上	(2)-ア 国の目標値と同じ目標値を設定
	9	★ 7-1-9 子宮がん検診受診率の増加	20歳以上	⑯ 25.4%	—	㉒ 25.6%	50.0%以上	50.0%以上	
	10	★ 7-1-10 肺がん検診受診率の増加	40歳以上	⑯ 22.9%	—	㉒ 31.5%	50.0%以上	50.0%以上	
	11	★ 7-1-11 乳がん検診受診率の増加	40歳以上	⑯ 27.4%	—	㉒ 26.0%	50.0%以上	50.0%以上	
	12	★ 7-1-12 大腸がん検診受診率の増加	40歳以上	⑯ 26.8%	—	㉒ 31.1%	50.0%以上	50.0%以上	
	13	7-1-13 胃がんの精密検査受診率の向上		⑩ 82.7%	⑮ 83.1%	⑲ 84.0%	90.0%以上	90.0%以上	
	14	7-1-14 子宮頸部がん精密検査受診率の向上		⑩ 89.5%	⑮ 85.5%	⑲ 82.7%	90.0%以上	90.0%以上	(2)-ア 国の目標値と同じ目標値を設定
	15	7-1-15 子宮体がん精密検査受診率の向上		⑩ 88.6%	⑮ 93.5%	⑲ 88.9%	90.0%以上	90.0%以上	
	16	7-1-16 肺がん精密検査受診率の向上		⑩ 77.1%	⑮ 83.1%	⑲ 81.6%	85.0%以上	85.0%以上	
	17	7-1-17 乳がん精密検査受診率の向上		⑩ 89.5%	⑮ 91.7%	⑲ 90.9%	90.0%以上	90.0%以上	
	18	7-1-18 大腸がん精密検査受診率の向上		⑩ 74.8%	⑮ 78.5%	⑲ 79.3%	85.0%以上	85.0%以上	
	19	★ 7-1-19 20~40歳代の1日当たりの平均脂肪エネルギー比率の減少【再掲】		⑪ 25.6%	⑯ 23.2%	㉑ 24.5%	25%以下	25.0%以下	
	20	★ 7-1-20 成人の1日当たりの野菜の平均摂取量の増加【再掲】		⑪ 306.2g	⑯ 275.1g	㉑ 329.2g	350g以上	350g以上	(2)-ア 国の目標値と同じ目標値を設定
	21	★ 7-1-21 県民の一日の平均歩数の増加【再掲】	男性	⑪7,632歩	⑯6,618歩	㉑7,145歩	8,632歩	8,632歩	(2)-イ① 国の目標値と同程度の増減率で設定、1,000歩増
	女性		⑪7,245歩	⑯6,037歩	㉑6,428歩	8,245歩	8,245歩		
	22	★ 7-1-22 運動習慣者の割合の増加【再掲】	男性	⑪ 32.4%	⑯ 26.3%	㉑ 31.6%	40.0%以上	40.0%以上	(2)-イ① 国の目標値と同程度の増減率で設定 (国基準値:男28.6%、女24.6%)
女性	⑪ 32.2%		⑯ 19.0%	㉑ 32.2%	40.0%以上	40.0%以上			
23	★ 7-1-23 高齢者の日常生活における歩数の増加【再掲】	男性	⑪5,122歩	⑯4,376歩	㉑4,813歩	6,422歩	6,422歩	(2)-イ① 国の目標値と同程度の増減率で設定、1,000歩増 (国基準値:男5436歩、女4604歩)	
女性		⑪3,692歩	⑯4,043歩	㉑4,500歩	4,992歩	4,992歩			
24	★ 7-1-24 成人の喫煙率の減少【再掲】	全体	⑪ 26.1%	⑯ 23.5%	㉑ 21.8%	20.0%未満	20.0%未満	(2)-ア 国の目標値と同じ目標値を設定	
男性		⑪ 51.6%	⑯ 43.9%	㉑ 38.8%	40.0%未満	40.0%未満			
女性		⑪ 6.8%	⑯ 7.8%	㉑ 7.4%	6.0%未満	6.0%未満			
25	★ 7-1-25 多量に飲酒する人の割合の減少【再掲】	男性	⑱ 4.6%	—	㉑ 5.8%	4.2%以下	4.2%以下	(3)-イ 基準値から10%改善した値を設定 (H22設定、代替指標)	
女性		⑱ 1.1%	—	㉑ 0.8%	1.0%以下	1.0%以下			
26	7-2-1 胃がん陽性反応適中度の向上		⑰ 1.94%	—	⑲ 2.26%	1.0%以上	1.0%以上	(2)-ア 国の目標値と同じ目標値を設定	
27	7-2-2 子宮頸部がん陽性反応適中度の向上		⑰ 6.48%	—	⑲ 5.18%	4.0%以上	4.0%以上		
28	7-2-3 子宮体部がん陽性反応適中度の向上		⑰ 6.45%	—	⑲ 11.11%	4.0%以上	4.0%以上		
29	7-2-4 肺がん陽性反応適中度の向上		⑰ 1.40%	—	⑲ 1.71%	1.3%以上	1.3%以上		
30	7-2-5 乳がん陽性反応適中度の向上		⑰ 3.36%	—	⑲ 5.37%	2.5%以上	2.5%以上		
31	7-2-6 大腸がん陽性反応適中度の向上		⑰ 4.15%	—	⑲ 4.04%	1.9%以上	1.9%以上		

領域	No.	目標項目 (★印:代表目標項目)	区分	基準値	中間値	実績値 (直近)	目標値 (H24)	目標値(案) (H25)	目標値設定の考え方
8 循環器 疾患 領域	1	★ 8-1-1 脳血管疾患死亡数の減少 (人口10万対年齢調整死亡率)	全体	⑰ 60.5	—	⑳ 51.4	52.9以下	52.9以下	(3)-ア① 他の計画で目標値が設定 (保健福祉計画) 対基準年の12.5%以上減少
			男性	⑰ 81.4	—	⑳ 70.1	—	—	
			女性	⑰ 44.7	—	⑳ 37.1	—	—	
	2	★ 8-1-2 心疾患死亡数の減少 (人口10万対年齢調整死亡率)	全体	⑰ 69.9	—	⑳ 62.3	評価時の直近全国値	評価時の直近全国値	(3)-ア② 全国水準を目標値に設定
			男性	⑰ 98.1	—	⑳ 86.2	—	—	
			女性	⑰ 47.5	—	⑳ 43.0	—	—	
	3	★ 8-1-3 高血圧症有病者の減少 (40~74歳の推定数)	男性	⑱推定数 87千人	—	—	推定数 78千人以下	推定数 78千人以下	(3)-ア③ 「メタボリックシンドロームの該当者・予備群の減少」の考え方に合わせて設定 :対基準年の10%以上減少
			女性	⑱推定数 72千人	—	—	推定数 64千人以下	推定数 64千人以下	
	4	★ 8-1-4 脂質異常症有病者の減少 (40~74歳の推定数)	男性	⑱推定数 44千人	—	—	推定数 39千人以下	推定数 39千人以下	(3)-ア③ 「メタボリックシンドロームの該当者・予備群の減少」の考え方に合わせて設定 :対基準年の10%以上減少
			女性	⑱推定数 37千人	—	—	推定数 33千人以下	推定数 33千人以下	
	5	★ 8-1-5 メタボリックシンドローム (内臓脂肪症候群) の該当者・予備群の減少 (40~74歳の推定数)	男性	⑱推定数 144千人	—	—	推定数 129千人以下	推定数 129千人以下	(2)-ア 国の目標値と同じ目標値を設定
			女性	⑱推定数 79千人	—	—	推定数 71千人以下	推定数 71千人以下	
	6	8-1-6 成人1日当たりの平均カリウム摂取量の増加		⑪ 3.1g	—	⑳ 2.5g	3.5g以上	3.5g以上	(2)-ア 国の目標値と同じ目標値を設定
	7	8-1-7 自分の血圧値を知っている人の割合の増加		⑪ 79.1%	⑯ 80.2%	⑳ 83.9%	90.0%以上	90.0%以上	(1)-ア 知識習得に関する目標項目 90%以上
	8	★ 8-1-8 成人の肥満者 (BMI≥25.0) の割合の減少 (適正体重維持者の割合の増加) 【再掲】	20-60歳代男性	⑪ 34.4%	⑯ 32.2%	⑳ 32.3%	15.0%以下	15.0%以下	(2)-ア 国の目標値と同じ目標値を設定
			40-60歳代女性	⑪ 38.7%	⑯ 33.9%	⑳ 27.6%	20.0%以下	20.0%以下	
	9	★ 8-1-9 児童・生徒の肥満児 (村田式による標準体重の20%以上) の割合の減少 (適正体重維持者の割合の増加) 【再掲】	小学3年生	⑱ 10.6%	—	⑳ 11.4%	8.0%以下	8.0%以下	(3)-ア① 他の計画で目標値が設定 県教育委員会 の目標値 (全国値以下)に合わせた設定
			小学6年生	⑱ 14.9%	—	⑳ 17.9%	10.8%以下	10.8%以下	
			中学3年生	⑱ 12.1%	—	⑳ 9.7%	10.2%以下	10.2%以下	
			高校3年生	⑱ 15.9%	—	⑳ 13.0%	11.2%以下	11.2%以下	
	10	★ 8-1-10 メタボリックシンドローム (内臓脂肪症候群) を認知している県民の割合の増加 【再掲】		⑱ 41.5%	—	⑳ 57.0%	80.0%以上	80.0%以上	(2)-ア 国の目標値と同じ目標値を設定
11	★ 8-1-11 県民の一日の平均歩数の増加 【再掲】	男性	⑪7,632歩	⑯6,618歩	⑳7,145歩	8,632歩	8,632歩	(2)-イ① 国の目標値と同程度の増減率で 設定 1,000歩増	
		女性	⑪7,245歩	⑯6,037歩	⑳6,428歩	8,245歩	8,245歩		
12	★ 8-1-12 運動習慣者の割合の増加 【再掲】	男性	⑪ 32.4%	⑯ 26.3%	⑳ 31.6%	40.0%以上	40.0%以上	(2)-イ① 国の目標値と同程度の増減率で 設定 (国基準値:男28.6%、女 24.6%)	
		女性	⑪ 32.2%	⑯ 19.0%	⑳ 32.2%	40.0%以上	40.0%以上		
13	★ 8-1-13 高齢者の日常生活における歩数の増加 【再掲】	男性	⑪5,122歩	⑯4,376歩	⑳4,813歩	6,422歩	6,422歩	(2)-イ① 国の目標値と同程度の増減率で 設定 1,000歩増 (国基準値:男5436 歩、女4604歩)	
		女性	⑪3,692歩	⑯4,043歩	⑳4,500歩	4,992歩	4,992歩		
14	★ 8-1-14 成人の喫煙率の減少 【再掲】	全体	⑪ 26.1%	⑯ 23.5%	⑳ 21.8%	20.0%未満	20.0%未満	(2)-ア 国の目標値と同じ目標値を設定	
		男性	⑪ 51.6%	⑯ 43.9%	⑳ 38.8%	40.0%未満	40.0%未満		
		女性	⑪ 6.8%	⑯ 7.8%	⑳ 7.4%	6.0%未満	6.0%未満		
15	★ 8-1-15 多量に飲酒する人の割合の減少 【再掲】	男性	⑱ 4.6%	—	⑳ 5.8%	4.2%以下	4.2%以下	(3)-イ 基準値から10%改善した値を設定 (H22設定、代替指標)	
		女性	⑱ 1.1%	—	⑳ 0.8%	1.0%以下	1.0%以下		
16	★ 8-1-16 定期健診等の糖尿病、循環器疾患に関連する検診受診率の増加	20歳以上	⑱ 68.1%	—	⑲ 66.6%	75.0%以上	75.0%以上	(3)-イ 基準値から10%改善した値を設定	
17	★ 8-1-17 メタボリックシンドローム (内臓脂肪症候群) の概念を導入した健康診査の受診者数の向上 [特定健康診査の実施率]		⑳ 37.4%	—	—	70.0%	70.0%	(2)-ア 国の目標値と同じ目標値を設定	
18	★ 8-1-18 メタボリックシンドローム (内臓脂肪症候群) の概念を導入した保健指導の受診者数の向上 [特定保健指導の実施率]		⑳ 9.8%	—	—	45.0%	45.0%	(2)-ア 国の目標値と同じ目標値を設定	
19	8-1-19 生活習慣病予防のためには健康診断が重要であることを知っている人の割合の増加		⑪ 79.9%	⑯ 84.1%	⑳ 85.9%	90.0%以上	90.0%以上	(1)-ア 知識習得に関する目標項目 90%以上	
20	★ 8-1-20 定期健診等受診後の糖尿病又は循環器疾患に関わる異常所見者への事後指導の徹底	男性	⑱ 64.1%	—	⑳ 46.1%	100.0%	100.0%	(1)-イ 理想的な状態を目指す目標	
		女性	⑱ 67.4%	—	⑳ 55.3%	100.0%	100.0%		
21	8-1-22 循環器疾患有病者に対する治療継続指導の徹底		⑱ 94.9%	—	⑳ 92.9%	99.6%以上	99.6%以上	(3)-イ 基準値から10%改善した値を設定	

領域	No.	目標項目 (★印:代表目標項目)	区分	基準値	中間値	実績値 (直近)	目標値 (H24)	目標値(案) (H25)	目標値 設定の考え方
9 糖尿病 領域	1	★ 9-1-1 糖尿病有病者の減少 (40～74歳の推定数)	男性	⑮推定数 46千人	—	—	推定数 41千人以下	推定数 41千人以下	(3)-イ 基準値から10%改善した値 を設定
			女性	⑮推定数 32千人	—	—	推定数 28千人以下	推定数 28千人以下	
	2	★ 9-1-2 メタボリックシンドローム (内臓脂肪症候 群) の該当者・予備群の減少 (40～74歳の推 定数) 【再掲】	男性	⑮推定数 144千人	—	—	推定数 129千人以下	推定数 129千人以下	(3)-ア① 他の計画で目標値が設定 (健康 日本21及び県医療費適正化計 画) : 対基準年10%以上減少 H27年: 対基準年25%以上減少
			女性	⑮推定数 79千人	—	—	推定数 71千人以下	推定数 71千人以下	
	3	★ 9-1-3 成人の肥満者 (BMI≥25.0) の割合の減少 (適正体重維持者の割合の増加) 【再掲】	20-60歳代男性	⑪ 34.4%	⑯ 32.2%	⑳ 32.3%	15.0%以下	15.0%以下	(2)-ア 国の目標値と同じ目標値を設定
			40-60歳代女性	⑪ 38.7%	⑯ 33.9%	⑳ 27.6%	20.0%以下	20.0%以下	
	4	★ 9-1-4 児童・生徒の肥満児 (村田式による標準体重 の20%以上) の割合の減少 (適正体重維持者 の割合の増加) 【再掲】	小学3年生	⑮ 10.6%	—	㉑ 11.4%	8.0%以下	8.0%以下	(3)-ア① 他の計画で目標値が設定 県教育 委員会の目標値 (全国値以下)に合わせて設定
			小学6年生	⑮ 14.9%	—	㉑ 17.9%	10.8%以下	10.8%以下	
			中学3年生	⑮ 12.1%	—	㉑ 9.7%	10.2%以下	10.2%以下	
			高校3年生	⑮ 15.9%	—	㉑ 13.0%	11.2%以下	11.2%以下	
	5	★ 9-1-5 メタボリックシンドローム (内臓脂肪症候 群) を認知している県民の割合の増加【再 掲】		⑮ 41.5%	—	㉑ 57.0%	80.0%以上	80.0%以上	(2)-ア 国の目標値と同じ目標値を設定
	6	★ 9-1-6 県民の一日の平均歩数の増加【再掲】	男性	⑪7,632歩	⑯6,618歩	⑳7,145歩	8,632歩	8,632歩	(2)-イ① 国の目標値と同程度の増減率で 設定 1,000歩増
			女性	⑪7,245歩	⑯6,037歩	⑳6,428歩	8,245歩	8,245歩	
	7	★ 9-1-7 運動習慣者の割合の増加【再掲】	男性	⑪ 32.4%	⑯ 26.3%	⑳ 31.6%	40.0%以上	40.0%以上	(2)-イ① 国の目標値と同程度の増減率で 設定(国基準値:男28.6%、女
			女性	⑪ 32.2%	⑯ 19.0%	⑳ 32.2%	40.0%以上	40.0%以上	
	8	★ 9-1-8 高齢者の日常生活における歩数の増加【再 掲】	男性	⑪5,122歩	⑯4,376歩	⑳4,813歩	6,422歩	6,422歩	(2)-イ① 国の目標値と同程度の増減率で 設定 1,000歩増(国基準値:男5436 歩、女4604歩)
		女性	⑪3,692歩	⑯4,043歩	⑳4,500歩	4,992歩	4,992歩		
9	★ 9-1-9 定期健診等の糖尿病、循環器疾患に関連する 検診受診率の増加【再掲】	20歳以上	⑯ 68.1%	—	⑲ 66.6%	75.0%以上	75.0%以上	(3)-イ 基準値から10%改善した値を設定	
10	★ 9-1-10 メタボリックシンドローム (内臓脂肪症候 群) の概念を導入した健康診査の受診者数の 向上 [特定健康診査の実施率] 【再掲】		⑳ 37.4%	—	—	70.0%	70.0%	(2)-ア 国の目標値と同じ目標値を設定	
11	★ 9-1-11 メタボリックシンドローム (内臓脂肪症候 群) の概念を導入した保健指導の受診者数の 向上 [特定保健指導の実施率] 【再掲】		⑳ 9.8%	—	—	45.0%	45.0%	(2)-ア 国の目標値と同じ目標値を設定	
12	★ 9-1-12 定期健診等受診後の糖尿病又は循環器疾患に 関する異常所見者への事後指導の徹底【再 掲】	男性	⑮ 64.1%	—	㉑ 46.1%	100.0%	100.0%	(1)-イ	
		女性	⑮ 67.4%	—	㉑ 55.3%	100.0%	100.0%	理想的な状態を目指す目標	
13	9-1-13 糖尿病有病者に対する治療継続指導の徹底 (糖尿病が強く疑われる人のうち治療を受け ている人の割合)		⑮ 57.6%	—	㉑ 50.3%	60.5%以上	60.5%以上	(3)-ア①基準値 (H19改正 時) から5%改善	
14	9-1-14 糖尿病性腎症によって、新たに透析導入と なった患者数の減少		143.3人 (⑮⑯⑰の3 年平均)	—	—	129人未満	129人未満	(2)-ア①(基準値 (H19改正 時) から10%改善	
15	9-1-15 糖尿病性網膜症による視覚障害者数の減少		⑮ 30人	—	—	28人以下	28人以下	(2)-イ①基準値 (H19改正 時) から5%改善	
16	9-2-1 食生活、身体活動及び飲酒習慣と糖尿病との 関わりに対する知識の普及		(⑭)93.8%	(⑰)93.2%	—	100%	100%	(1)-イ 理想的な状態を目指す目 標	
10 不慮の 事故 領域	1	★ 10-1-1 SIDS (乳幼児突然死症候群)、誤飲によ る窒息や中毒、溺死、転落、交通事故などの 不慮の事故による死亡数の減少 (人口10万対 死亡率)		⑩ 38.1	⑮ 38.0	㉑ 42.3	評価時の 直近全国値	評価時の 直近全国値	(3)-ア② 全国水準を目標値として設定
	2	10-1-2 応急措置や心肺蘇生の方法を知っている人の 割合の増加		⑪ 44.6%	⑯ 49.0%	㉑ 50.8%	70.0%以上	70.0%以上	(3)-ア 知識習得 (90%以上) から受講 機会限定を考慮し△20
	3	10-1-3 高齢者にとっての安全で暮らしやすい住宅環 境やその改善方法を知っている人の割合の増 加		⑪ 59.4%	⑯ 64.2%	㉑ 68.5%	60.0%以上	60.0%以上	(3)-ア 現状維持又はそれ以上を目指し 設定
	4	10-1-4 家庭内での事故防止対策が未実施で、実施予 定の家庭の割合の減少		⑪ 29.4%	⑯ 34.3%	㉑ 24.3%	20.0%以下	20.0%以下	(3)-ア 基準値から10%程度の減を目指す

領域	No.	目標項目 (★印:代表目標項目)	区分	基準値	中間値	実績値 (直近)	目標値 (H24)	目標値(案) (H25)	目標値 設定の考え方
1 1 こころ	1	11-1-1 毎日が充実していると感じている人の割合の増加		⑪ 51.3%	⑯ 52.0%	㉑ 57.0%	57.0%以上	57.0%以上	(3)-イ 基準値から10%改善
	2	★ 11-1-2 睡眠時間が十分で熟睡している人の割合の増加		⑪ 55.0%	⑯ 49.3%	㉑ 49.5%	61.0%以上	61.0%以上	(2)-イ① (国の同様、基準値から10%改善)
	3	11-1-3 精神疾患(うつ病など)について理解していない人の割合の減少		⑪ 30.5%	⑯ 28.4%	㉑ 23.1%	27.0%以下	27.0%以下	(3)-イ 基準値から10%改善した値を設定
	4	★ 11-1-4 最近1ヶ月にストレスを感じた人の割合の減少		⑪ 63.0%	⑯ 66.2%	㉑ 67.2%	57.0%以下	57.0%以下	(3)-イ 基準値から10%改善した値を設定
	5	11-1-5 ストレスの発散方法を持っていない人の割合の減少		⑪ 33.1%	⑯ 34.6%	㉑ 30.4%	29.0%以下	29.0%以下	(3)-イ 基準値から10%改善した値を設定
	6	11-1-6 健康な生活を続けるために心がけていること(目標)がある人の割合の増加		⑪ 42.3%	⑯ 40.6%	㉑ 71.3%	47.0%以上	47.0%以上	(3)-イ 基準値から10%改善した値を設定
	7	11-1-7 悩み等の相談・受診場所を知らない人の割合の減少		⑪ 56.3%	⑯ 60.1%	㉑ 56.9%	10.0%以下	10.0%以下	(1)-ア 知識習得に関する目標項目 90%以上
	8	11-1-8 悩み等の相談・受診場所を利用しにくいと感じている人の割合の減少		⑪ 49.7%	⑯ 60.5%	㉑ 61.1%	30.0%以下	30.0%以下	(3)-ア③
	9	11-1-9 眠りを助けるために睡眠補助品(睡眠薬、精神安定剤)やアルコールを使うことがある人の割合の減少		(⑧)14.1%	(⑮)17.6%	-	12.0%以下	12.0%以下	(2)-エ 基準値を国基準値とした目標
	10	11-2-1 「スクールカウンセラー」を配置している小中高등학교数の増加		⑬ 20校	⑰ 50校	㉒ 131校	53校以上	53校以上	(3)-イ 値から10%改善した値を設定
	11	11-2-2 メンタルヘルスケアを実施している事業所(常用労働者10名以上)の割合の増加		(⑭)24.0%	(⑰)34.0%	-	(H24:50.0%)	(H24:50.0%)	(3)-ア① 他の計画で目標値が設定 (厚生労働省労働災害防止計画)
1 2 自殺領域	1	★ 12-1-1 自殺による死亡数の減少(人口10万対死亡率)	全体	⑨ 25.8	⑮ 37.8	㉒ 32.0	県自殺対策アクションプラン目標値	25.8(H26)	(3)-ア① ※3 他の計画で目標値が設定 (県自殺対策アクションプラン)
			男性	⑨ 36.5	⑮ 59.0	㉒ 44.9			
		女性	⑨ 15.9	⑮ 18.2	㉒ 20.3				
	2	12-1-2 一年間に自殺を考えたことのある人の減少		⑪ 1.0	⑯ 1.0	㉑ 1.8	0.5%以下	0.5%以下	(3)-ア③ 半減

《算定方法》

※3 12-1-1 自殺による死亡数の減少(人口10万対死亡率)

平成24年度目標値は、県の自殺対策アクションプラン目標値と同じ目標値を設定することとしていたことから、県自殺対策アクションプラン(平成23年～26年)の目標値(平成26年)と同様の25.8(平成26年)と設定する。